

会 議 議 事 録

1 会議名	令和6年度 第1回長岡市図書館協議会
2 開催日時	令和6年7月29日(月曜日) 午後2時から3時40分まで
3 開催場所	長岡市立中央図書館2階美術センター
4 出席者名	【協議会委員】 渡邊委員長、淵本副委員長、小原委員、小林委員、江川委員 多田委員、中村委員、野中委員、笹岡委員、山本委員 【事務局】 竹内教育部長、梅沢館長、鈴木ミライエ長岡企画推進室企画 担当課長、五井館長補佐、近藤総括副主幹、馬場庶務係長 石 井奉仕係長、広井歴史文書館長 井口ミライエ長岡企画推進室主査 指定管理者：菰澤統括責任者、山田業務責任者
5 欠席者名	なし
6 議題	(1) 正副委員長の選出 (2) 報告事項 ①令和5年度長岡市立図書館の活動評価について ②令和6年度長岡市立図書館の運営方針について ③令和6年度米百俵プレイスミライエ長岡 互尊文庫の取り組みについて (3) 協議事項 令和6年度長岡市図書館の活動評価(案)について
7 審議結果の概要	議題(1)について 渡邊誠介委員を委員長に、淵本紀子委員を副委員長に選出した。 議題(2)、議題(3)について 事務局提案のとおり決定した。
8 審議の内容	
事務局	(1) 正副委員長の選出 これまでの経緯を理解されている渡邊誠介委員を委員長に、淵本紀子委員を副委員長にお願いしたい。

事務局	(異議なし、賛成の声あり) 委員長に渡辺誠介委員、副委員長に淵本紀子院委員に決定する。 (2) 報告事項 ①令和5年度長岡市立図書館の活動評価について (資料2により説明) 質問・意見なし ②令和6年度長岡市立図書館の運営方針について (資料3により説明) 質問・意見なし ③令和6年度米百俵プレイスミライエ長岡 互尊文庫の取り組みについて (資料4により説明)
委員	互尊文庫で本を借りるときは、事前に貸出カードを作成するのか。
事務局	市内の図書館で作成した貸出カードで互尊文庫の本を借りることができるほか、逆に互尊文庫で作成した貸出カードで市内の図書館の本を借りることもできる。
委員	新着本は6カ月間借りることができないのか。
事務局	テーマ別の本の中には、重要なものもあり、6カ月経っても貸さない本もある。中央図書館に同じ本があれば、予約することができる。
委員	借りたい本があるのに、いつになったら借りることができるのか、案内をいただきたい。
委員	中央図書館、地域図書館、互尊文庫はそれぞれ独立しているが、どういう世代の人が利用しているのか。
事務局	中央図書館は、50～70歳の人が多いほか、20～30歳代の子育て中の人も多い。

事務局	ミライエ長岡 5 階にビジネス書のコーナーがあるので、40～50 歳の人が多いほか、学生も多い。
委員	市外からの視察の状況はどうか。
事務局	週 2～3 回視察がある。図書館のリニューアルを予定している市町村職員や議員の視察もある。ミライエ長岡は、実験的な要素があるので、そういう役割を担っている。
委員	運営面の協力は具体的にどうなっているのか。
事務局	図書館のシステムは他図書館と共通なものを使用しているほか、予約本の受け取りはどの図書館でもできる。
委員	互尊文庫では、入口に館内地図があるが、中央図書館にはない。利用者にとって大事なもののなので、設置できないか。 また、互尊文庫にはセルフ貸出機があるので、他の図書館にも設置してほしい。
事務局	館内地図は、現在 1 階の男子トイレの工事をしているので、設置していないが、工事が終了したら設置する。また、窓口に紙の地図を置いているので、活用いただきたい。互尊文庫でのセルフ貸出機は、I C タグを使ったものになるが、図書館全体でやるとすると費用がかかることから難しい。 中央図書館、地域図書館でのセルフ貸出機については、バーコードを読み込むものになっているので、利用いただきたい。 (3) 協議事項 ①令和 6 年度長岡市図書館の活動評価 (案) について (資料 5、5-1 により説明) 主な質問・意見は次のとおり
委員	新型コロナウイルスにより、貸出冊数や利用者などどのくらい影響があったのか。
事務局	令和 2 年度は、新型コロナウイルスの影響を一番受けて、貸出冊数や登録者が前年度と比べ、大きく減少した。その後も減少傾向が続いている。

委員	新潟市で県立図書館の職員がデジタル図書の利用をPRしていた。長岡市ではデジタル図書を導入しているのか。
事務局	現時点で導入していない。県内市町村で協議を重ねていて、現在導入に向けた検討を行っている。長野県では77市町村で導入している。
事務局	互尊文庫限定ではあるが、雑誌について電子書籍サービスを行っている。
委員	予約冊数と有効登録者は上がっているが、窓口対応満足度は下がっている。どうとらえているのか。
事務局	予約冊数については、市内図書館全体で増加傾向にあり、特に中央図書館が伸びている。中央図書館では、スマートフォンからの予約が全体の半分を占めている。図書館に来なくても、自宅から本の予約ができることが予約冊数の増加につながっていると思われる。 窓口対応満足度については、近年「ふつう」と回答する割合が増加している。また、令和4年度までは利用者に対し、アンケートの記入の呼びかけを行ってきたが、窓口業務量が増加傾向にあることから、令和5年度はアンケート用紙の手渡しを行わなかったことにより、アンケート用紙の回収数が令和4年度と比較して半減した。窓口対応は図書館にとって大事な業務であることを踏まえ、今年8月中にアンケートを実施するほか、図書館ホームページ内の「ご意見ポスト」で利用者からご意見を聴取し、図書館の窓口対応満足度を上げていきたいと考えている。
事務局	有効登録者が増えた理由は、互尊文庫で貸出カードを作ったことが要因と考えている。本を借りなくても予約席を確保するときに貸出カードが必要になるためである。
委員長	「基本評価項目」については、事務局案に決定する。 ①令和6年度長岡市図書館の活動評価（案）について （資料6により説明） 主な質問・意見は次のとおり
委員	レファレンスサービスに関して、過日地域図書館へ行き、調べも

	のに必要な本があるかどうか聞いたら、「ない」と言われた。「調べて、連絡します」という対応が必要なのではないか。
事務局	個人ではなく、組織で対応すべきなので、その場で分からなくても、少し時間をいただいて、今後そのように対応したい。
委員	重点事項評価の項目 4、長岡市子ども読書活動推進計画について、デジタル化が進み、AI の時代の中で、子どもたちに読み書きの能力を身に付けるには紙の本を読むことが重要ではないかと思う。この計画は、これらの情勢を踏まえて計画をしたものなのか。
事務局	計画は社会情勢を踏まえたもので、電子書籍も一部触れている。また、学校の授業で、紙の本とインターネットの情報の違いや特徴を教えているところもある。。
委員	デジタル化の時代だからこそ、子どもの読書環境をいかに充実させていくのが重要であることから、この計画を推進させていただきたい。
委員	学校への配本について、戦争について調べたいとか、植物を調べたいとか、ものすごい数の本を届けていただき感謝している。
委員	○その他自由意見・質問 借りたい本が廃棄処分されることがあるが、廃棄の基準はどうか。
事務局	除籍基準があり、時間によって資料の記述と現実とが合わなくなった資料などを廃棄している。。また、汚損や破損で弁償となるケースがあり、古い本は購入できないことが多い。長岡の図書館にない本については、県立図書館などから相互貸借で借りることができる。
委員	現在、高校生の読書力がかなり貧弱になっており、活字離れが著しい。本校では探求学習があり、自分たちで課題を立てて調べている。図書館に行く生徒もいるが、多くの生徒は行かない。
9 会議資料 別添のとおり	